

# 球磨支援学校移転整備事業基本構想（案） 概要版

## 現状と課題

球磨支援学校は、昭和54年に、小・中学部の学校として開校し、平成4年に高等部が増設されている。児童生徒数は年々増加しており、令和元年5月1日現在の在籍者数は、小・中学部及び高等部を合わせて86人と、開校当時の2倍以上にのぼる。

学校では、児童生徒を受け入れるため、応急的に、特別教室等の教室への転用や複数学級の同室化を行い凌いでいるが、校内での対応は限界に達している。高等部の学級編制においては、高校標準法で定める1学級8人を超えた受入れが常態化しており、令和元年度も6学級中1学級において8人を超えている状況。また、施設設備についても、小・中学部仕様のため、高等部の生徒にとっては運動場や体育館などの広さが十分ではない。

## 整備の方向性

- 「1学級1教室」及び「必要な特別教室」の確保を目標として、整備に取り組む。
- 平成31年3月末に閉校した多良木高校跡地を活用し、全学部を移転させる。
- 土地・施設の利用については、多良木町による、多良木中学校等の同敷地への移転整備（校舎を新築）の計画を踏まえて、多良木町と連携し検討する。
- 地域に長年愛されてきた多良木高校跡地を多良木中学校等とともに活用することを踏まえ、次の機能を建築計画に盛り込む。
  - (a) 交流及び共同学習の推進
  - (b) 閉校した多良木高校の軌跡・面影の保存
  - (c) 地域との交流促進

## 移転イメージ



旧多良木高校航空写真（HPより）

## 計画概要

【所在地】球磨郡多良木町大字多良木1212（多良木高校跡地）

【規模】小学部 一般6学級、重複障がい2学級  
 中学部 一般6学級、重複障がい2学級  
 高等部 一般6学級、重複障がい2学級

【敷地面積】23,000㎡

【延床面積】校舎等4,597㎡ 体育館13,17㎡  
 セミナーハウス699㎡ 計6,613㎡

## 学校のコンセプトと具体的な取組み( )

- (1) バリアフリー・ユニバーサルデザインの施設
- ・障がいの特性を踏まえた安全・安心の確保
  - ・広大な敷地で誰もが迷わないような工夫

- 安全・安心な低層の校舎（小学部生が使うことも想定）
- 敷地境界における飛び出し防止・事故防止対策（フェンス設置）
- 十分かつ機能的な収納スペース（バギー・車椅子置き場・靴箱等）
- 動線を踏まえた設備配置（乗降場、オムツ交換台、シャワー、ベッド、小上がり等）

- (2) 自立や将来の豊かな生活に向けて伸びゆく子どもを支える教育
- ・地域資源を活用した教育実現
  - ・成長段階に応じた日常生活の学習

- 一人一人の特性に応じた教育を実現できる十分な学習環境（教室、運動場、プール等）
- 時代や地域のニーズを考えた実習スペース

- (3) 交流及び共同学習の推進
- ・小・中学校との交流をさらに充実
  - ・中学校と連携した防災施設の役割強化

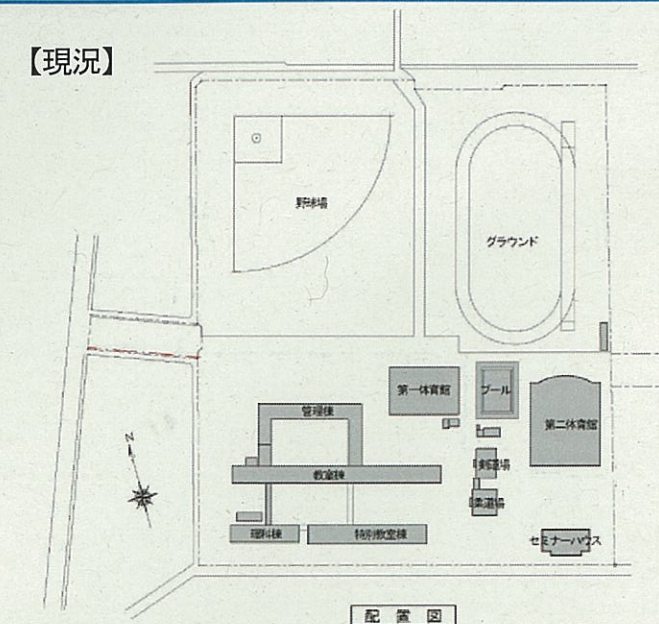
- 安心して活動できる中学校との交流スペース
- 多良木高校ゆかりの人や地域の人が集えるスペース（セミナーハウスの活用を検討）
- イベント等でも活用できる屋外スペース（中庭等）

- (4) 人吉・球磨地域における特別支援教育の拠点
- ・センター的機能の充実・強化
  - ・障がい理解等に関する研修会の実施

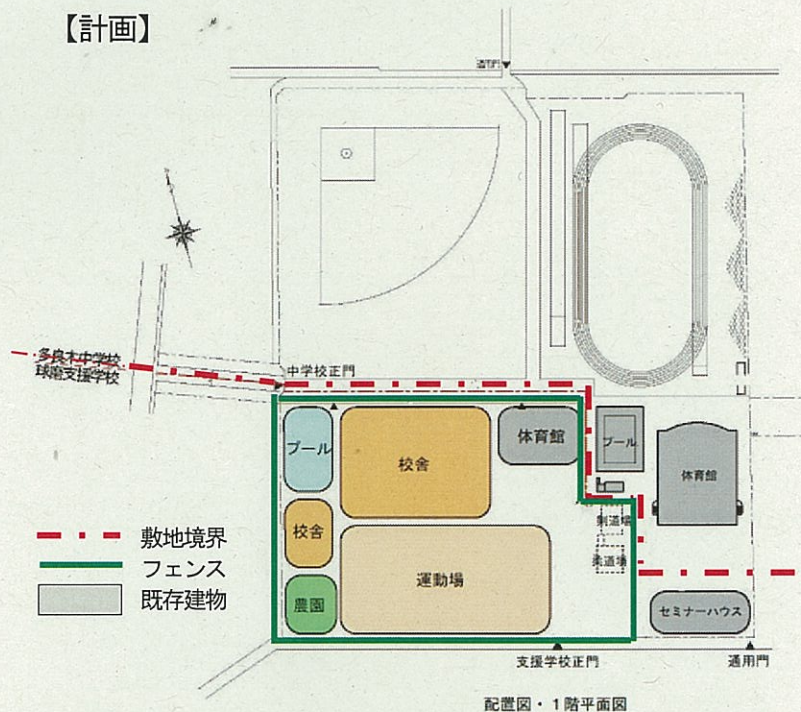
- 研修に活用できる多目的スペース（ラウンジ等）
- 人吉・球磨地域の相談に対応できる教育相談室

## 敷地・建物使用イメージ

【現況】



【計画】



--- 敷地境界  
 --- フェンス  
 ■ 既存建物

## スケジュール

	R1	R2	R3	R4	R5
基本構想					
	基本・実施設計				
	工事				
					供用開始 (9月以降)